

2026/27 スピードスケート国際競技会派遣選手選考基準

ワールドカップにおける実施種目や日本の出場枠に関連したルールなど、詳細は国際スケート連盟(ISU)によって後日通知される予定である(発表日未定)。これを受けて、本選考基準のうち ISU から今後通知されるルールに適合しない部分は変更される場合がある。

【決定の方法】

国際競技会への派遣選手選考は、以下の基準に基づき、強化部委員会が推薦し、選考委員会又は理事会で承認することによって決定する。

【派遣選手団の編成方針】

1. 日本代表として十分な活躍が期待される選手の中から選考する。
2. 日本代表として十分な活躍が期待できる種目を優先的に選考する。
3. 行動規範を遵守し、活力ある日本スケート連盟を代表するに相応しい選手・役員をもって編成する。

【出場に関する制限】

国際スケート連盟(ISU)や国際大学スポーツ連盟(FISU)によって、以下のとおり制限される。

- ・ 各国際競技会への日本の各種目出場枠数
- ・ 世界距離別スピードスケート選手権大会特別参加資格ランキングリスト(SQRL)
- ・ 各国際競技会の参加標準記録(後述)

【特記事項】

- ・ 各国際競技会において、ISU が設定した参加標準記録を所持している種目にのみ、出場することができる。
- ・ 各国際競技会において、日本の種目出場枠に空きが生じている場合、当該派遣選手団の監督の責任の下、当該派遣選手団の中から出場可能な選手を追加でエントリーすることができる。
- ・ ISU の参加要項等に変更があった場合は、それに準じて選考方法等を再検討し変更する場合がある。
- ・ 本選考基準において、JOC ハイパフォーマンスディレクター、JOC ハイパフォーマンスアシスタントディレクター及びスピードスケート強化部長の協議による選考を定めている場合で、意見の一致に至らなかった場合は、多数決の方法をもって決する。また、この三者協議による選考は、強化部委員会の出席者(選考の対象とされる選手と同所属や担当コーチなどといった関係者は除く)の 3 分の 2 以上の多数をもって変更することができる。
- ・ 派遣選手の決定後、ケガや病気などによって大会への出場が困難だと判断された場合は、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、JOC ハイパフォーマンスアシスタントディレクター及びスピードスケート強化部長の協議により、派遣リザーブリスト(後述)に登録された選手と入れ替える場合がある。その場合、強化スタッフに登録されたスポーツドクターの診断・見解を参考に検討する。
- ・ 本選考基準において、選考基準記録(後述)に対する記録達成率を用いる場合は、以下の算出及び比較方法に従うものとする。

【算出方法】

記録達成率(%) = 選考基準記録 ÷ 当該選手の記録 × 100

※ 記録達成率の算出にあたり、小数第 4 位以下は切り捨てる。

【算出・比較例】

選考競技会において、男子 500m の記録が 35,40 の A 選手と、男子 1000m の記録が 1.10,10 の B 選手を比較する。A 選手と B 選手の記録達成率は、以下のとおりに算出・比較される。

- ・ A 選手の場合：男子 500m の選考基準記録 34,48 ÷ 35,40 × 100 = 97.401%
 - ・ B 選手の場合：男子 1000m の選考基準記録 67,95 ÷ 70,10 × 100 = 96.932%
- 記録達成率は A 選手が B 選手に比べて高いため、A 選手が優位になる。

1. ワールドカップ第 1 戦～第 4 戦

第 1 戦北京大会 (11/13～15、500m・1000m・1500m・女子 3000m・男子 5000m・MS・チーム種目)

第 2 戦帯広大会 (11/20～22、500m・1000m・1500m・女子 3000m・男子 5000m・MS・チーム種目)

第 3 戦ヘレンバーン大会 (12/4～6、500m・1000m・1500m・女子 3000m・男子 5000m・MS・チーム種目)

第 4 戦スタヴァンゲル大会 (12/11～13、500m・1000m・1500m・女子 3000m・男子 5000m・MS・チーム種目)

※ MS(マススタート)、チーム種目：TP(チームパシュート)、TS(チームスプリント)、MR(ミックスリレー)

※ 実施される競技種目は未定

【選考方針】

世界距離別スピードスケート選手権大会において、日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から選考する。

【派遣可能人数】

男女合計 20 名

【種目出場枠数】

前年度のワールドカップの成績により、以下の国別最大枠数が割り振られる。

男子：500m(5)、1000m(4)、1500m(5)、5000m・10000m(4)、MS(2)、TP(1)、TS(1)

女子：500m(4)、1000m(5)、1500m(4)、3000m・5000m(4)、MS(2)、TP(1)、TS(1)

男女混合：MR(1)

※上記枠数は未定

【選考基準】

対象競技会：第 33 回全日本スピードスケート距離別選手権大会(距離別選手権部門のみ)

- (1) 対象競技会において、男女マススタートを除く全ての実施種目を対象として、出場選手の出場種目すべての記録の記録達成率を、男女及び種目を問わずに高い者から順に並べ、最上位の記録達成率を有する者から、種目出場枠の範囲内で、18 名に至るまで、当該記録達成率に係る種目出場枠の正選手として選考する。なお、女子 3000m 及び男子 5000m で選考された選手は女子 5000m 及び男子 10000m の正選手として、女子 5000m 及び男子 10000m で選考された選手は女子 3000m 及び男子 5000m の正選手としてそれぞれ選考する。複数種目に選考された選手(「なお」以下の基準で選考された者を含む。)が発生した場合、上記選考における人数の計上では、当該選手を 1 名として数える。

- (2) 残り 2 名の派遣選手は、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、JOC ハイパフォーマンスアシスタントディレクター及びスピードスケート強化部長の協議により、対象競技会にエントリーした選手の中から、対象競技会の成績(順位や記録達成率)及び日本代表選手団のチーム構成を考慮し、選考方針を踏まえた総合的な検討を加えて、出場する種目を含めて選考する。
- (3) 男女チームパシュートの正選手 3 名及び補欠選手 1 名、男女チームスプリントの正選手 3 名及び補欠選手 1 名、男女マススタートの正選手 2 名及び補欠選手 1 名は、当該派遣選手団の中から、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、JOC ハイパフォーマンスアシスタントディレクター及びスピードスケート強化部長の協議により、国際競技会での活躍を前提とした総合的な検討を加えて、選考する。
- (4) ミックスリレーは、当該派遣選手団の監督が当該派遣選手団の中から出場可能な選手を選考し、エントリーする場合がある。
- (5) 対象競技会の成績(順位や記録達成率)及び日本代表選手団のチーム構成を考慮し、選考方針を踏まえた総合的な検討を加えて、男女各 3 名まで、派遣リザーブリスト登録者として選考する場合がある。
- (6) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

【特記事項】

- (1) ワールドカップ第 1 戦における各種目のエントリー順は、ISU ワールドカップ参加標準記録の達成を示すための、エントリー時に所持している記録順によるものとする。なお、最終のエントリー順は ISU の決定に従う。
- (2) 各ワールドカップの男女チームパシュート及び男女チームスプリントにおける正選手と補欠選手の入れ替えは、遠征中におけるワールドカップの成績や練習状況等を総合的に検討し、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、JOC ハイパフォーマンスアシスタントディレクター及びスピードスケート強化部長の協議により、必要に応じて行うものとする。

2. 第 33 回ユニバーシアード冬季競技大会(2027/長春)

中国・長春(1/15~25、500m・1000m・1500m・女子 3000m・男子 5000m・MS・TP・TS・MR)

【選考方針】

ユニバーシアード冬季競技大会で日本代表選手団として十分な活躍が期待でき、将来オリンピック等国际競技会でのメダル獲得が期待できる選手の中から選考する。

【派遣可能人数】

男女各最大 10 名(予定)

【種目出場枠数】

ユニバーシアード冬季競技大会特別ルールにより、以下の国別最大枠数が割り振られる。

男子:500m(4)、1000m(4)、1500m(4)、5000m(3)、MS(2)、TP(1)、TS(1)

女子:500m(4)、1000m(4)、1500m(4)、3000m(3)、MS(2)、TP(1)、TS(1)

男女混合:MR(1)

【選考基準】

対象選手:現役大学生及び卒業 1 年目の者で、1999 年 1 月 1 日から 2009 年 12 月 31 日の間に生まれた者とする。

対象競技会:第 33 回全日本スピードスケート距離別選手権大会(距離別選手権部門・ジュニア派遣選手選考部門)、2026/27 全日本選抜スピードスケート競技会八戸大会

- (1) 第 33 回全日本スピードスケート距離別選手権大会に出場した対象選手の中から、以下の順で選考する。
- ① 上記 1 項「ワールドカップ第 1 戦～第 4 戦」における選考基準の(1)項を満たして選考された者(女子 5000m、男子 10000m を除く)を、選考された種目に限り選考する。
 - ② 上記①項で選手が選考されなかった種目に限り(女子 5000m、男子 10000m、男女マススタートを除く)、種目ごとに距離別選手権部門及びジュニア派遣選手選考部門の全レースを対象としたタイムランキングを作成し、当該種目の最上位者をそれぞれ選考する。
- (2) 男女それぞれの派遣可能人数における残りの選手は、2026/27 全日本選抜スピードスケート競技会八戸大会に出場した対象選手の中から、種目(女子 5000m、男子 10000m、男女マススタートを除く)ごとに、最上位者(上記(1)項で選考された者が選考された種目で最上位であった場合は次順位の者)を記録達成率の高い者から順に選考する(上記(1)項で選考された者も、その選考された種目以外の種目については、本項で選考する。)。
- (3) 上記(2)項までで男女それぞれの派遣可能人数が満たされなかった場合は、両対象競技会の全レース(女子 5000m、男子 10000m、男女マススタートを除く)を対象として、出場した対象選手の出場種目すべての記録(上記(1)及び(2)項で選考された者の選考された種目の記録を除く。)の記録達成率を、男女及び種目を問わずに高い者から順に並べ、最上位の記録達成率を有する者から、種目出場枠の範囲内で、男女各 10 名に至るまで、当該記録達成率に係る種目出場枠の正選手として選考する(上記(1)項及び(2)項で選考された者も、その選考された種目以外の種目については、本項で選考する。)。
- (4) 男女チームパシュートの正選手 3 名及び補欠選手 1 名、男女チームスプリントの正選手 3 名及び補欠選手 1 名、男女マススタートの正選手 2 名及び補欠選手 1 名、ミックスリレーの正選手 2 名及び補欠選手 2 名(いずれも男女それぞれ 1 名ずつ)は、当該派遣選手団の中から出場可能な選手を、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、JOC ハイパフォーマンスアシスタントディレクター及びスピードスケート強化部長の協議により、国際競技会での活躍を前提とした総合的な検討を加えて、選考する。
- (5) 対象競技会の成績(順位や記録達成率)及び日本代表選手団のチーム構成を考慮し、選考方針を踏まえた総合的な検討を加えて、男女各 2 名まで、派遣リザーブリスト登録者として選考する場合がある。
- (6) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

【特記事項】

- ・ 日本オリンピック委員会(JOC)が求める派遣に対する条件(各種書類提出や手続き等)を満たした者を派遣対象とする。
- ・ 上記の選考基準における選考過程において複数種目に選考された選手が発生した場合、選考における人数の計上では、当該選手を 1 名として数える。

3. ワールドカップ第 5 戦～第 6 戦

第 5 戦ソルトレークシティ大会(1/29～31、500m・1000m・1500m・女子 3000m・男子 5000m・MS・チーム種目)

第 6 戦カルガリー大会(2/5～7、500m・1000m・1500m・女子 3000m・男子 5000m・MS・チーム種目)

※ 実施される競技種目は未定

【選考方針】

世界距離別スピードスケート選手権大会において、日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から選考する。

【派遣可能人数】

男女合計 18 名

【種目出場枠数】

前年度のワールドカップの成績により、以下の国別最大枠数が割り振られる。

男子:500m(5)、1000m(4)、1500m(5)、5000m・10000m(4)、MS(2)、TP(1)、TS(1)

女子:500m(4)、1000m(5)、1500m(4)、3000m・5000m(4)、MS(2)、TP(1)、TS(1)

※上記枠数は未定

【選考基準】

対象競技会:第 94 回全日本スピードスケート選手権大会

- (1) 対象競技会において、男女マススタートを除く全ての実施種目を対象として、出場選手の出場種目すべての記録の記録達成率を、男女及び種目を問わずに高い者から順に並べ、最上位の記録達成率を有する者から、種目出場枠の範囲内で、16 名に至るまで、当該記録達成率に係る種目出場枠の正選手として選考する。なお、女子 3000m 及び男子 5000m で選考された選手は女子 5000m 及び男子 10000m の正選手として、女子 5000m 及び男子 10000m で選考された選手は女子 3000m 及び男子 5000m の正選手としてそれぞれ選考する。複数種目に選考された選手(「なお」以下の基準で選考された者を含む。)が発生した場合、上記選考における人数の計上では、当該選手を 1 名として数える。
- (2) 残り 2 名の派遣選手は、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、JOC ハイパフォーマンスアシスタントディレクター及びスピードスケート強化部長の協議により、対象競技会にエントリーした選手の中から、対象競技会の成績(順位や記録達成率)及び日本代表選手団のチーム構成を考慮し、選考方針を踏まえた総合的な検討を加えて、出場する種目を含めて選考する。
- (3) 男女チームパシュートの正選手 3 名及び補欠選手 1 名、男女チームスプリントの正選手 3 名及び補欠選手 1 名、男女マススタートの正選手 2 名及び補欠選手 1 名は、当該派遣選手団の中から、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、JOC ハイパフォーマンスアシスタントディレクター及びスピードスケート強化部長の協議により、国際競技会での活躍を前提とした総合的な検討を加えて、選考する。
- (4) ミックスリレーは、当該派遣選手団の監督が当該派遣選手団の中から出場可能な選手を選考し、エントリーする場合がある。
- (5) 対象競技会の成績(順位や記録達成率)及び日本代表選手団のチーム構成を考慮し、選考方針を踏まえた総合的な検討を加えて、男女各 3 名まで、派遣リザーブリスト登録者として選考する場合がある。
- (6) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

【特記事項】

- ・ 各ワールドカップの男女チームパシュート及び男女チームスプリントにおける正選手と補欠選手の入れ替えは、遠征中におけるワールドカップの成績や練習状況等を総合的に検討し、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、JOC ハイパフォーマンスアシスタントディレクター及びスピードスケート強化部長の協議により、必要に応じて行うものとする。

4. 世界距離別スピードスケート選手権大会

中国・北京(2/25~28、500m・1000m・1500m・女子 3000m・5000m・男子 10000m・MS・TP・TS)

【選考方針】

世界距離別スピードスケート選手権大会において、日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から選考する。

【派遣可能人数】

最大で男女合計 16 名

【種目出場枠数】

ワールドカップ第 1 戦~第 6 戦までのポイント及びタイムランキング(SQRL)により、以下の国別最大枠数が割り振られる。

男子:500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、5000m(3)、10000m(2)、MS(2)、TP(1)、TS(1)

女子:500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、3000m(3)、5000m(2)、MS(2)、TP(1)、TS(1)

【選考基準】

対象競技会:第 94 回全日本スピードスケート選手権大会

- (1) 対象競技会において、男女マススタートを除く全ての実施種目を対象として、出場選手の出場種目すべての記録の記録達成率を、男女及び種目を問わずに高い者から順に並べ、最上位の記録達成率を有する者から、種目出場枠の範囲内で、14 名に至るまで、当該記録達成率に係る種目出場枠の正選手として選考する。なお、女子 3000m 及び男子 5000m で選考された選手は女子 5000m 及び男子 10000m の正選手として、女子 5000m 及び男子 10000m で選考された選手は女子 3000m 及び男子 5000m の正選手としてそれぞれ選考する。複数種目に選考された選手(「なお」以下の基準で選考された者を含む。)が発生した場合、上記選考における人数の計上では、当該選手を 1 名として数える。
- (2) 種目出場枠数に空きがある場合、残り 2 名の派遣選手は、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、JOC ハイパフォーマンスアシスタントディレクター及びスピードスケート強化部長の協議により、対象競技会にエントリーした選手の中から、対象競技会の成績(順位や記録達成率)及び日本代表選手団のチーム構成を考慮し、選考方針を踏まえた総合的な検討を加えて、出場する種目を含めて選考する。
- (3) 対象競技会の成績(順位や記録達成率)及び日本代表選手団のチーム構成を考慮し、選考方針を踏まえた総合的な検討を加えて、男女各 3 名まで、派遣リザーブリスト登録者として選考する場合がある。
- (4) 男女チームパシュートの正選手 3 名及び補欠選手 1 名、男女チームスプリントの正選手 3 名及び補欠選手 1 名、男女マススタートの正選手 2 名及び補欠選手 1 名は、当該派遣選手団の中から、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、JOC ハイパフォーマンスアシスタントディレクター及びスピードスケート強化部長の協議により、国際競技会での活躍を前提とした総合的な検討を加えて、選考する。
- (5) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

【特記事項】

- ・ 世界距離別スピードスケート選手権大会の種目出場枠はワールドカップ第 6 戦終了後に ISU から通知される。このため、上述の選考基準に基づいた選手選考は、ワールドカップ第 6 戦終了後(日本の種目出場枠数確定後)、速やかに実施する。
- ・ 男女チームパシュート及び男女チームスプリントにおける正選手と補欠選手の入れ替えは、遠征中におけるワールドカップの成績や練習状況等を総合的に検討し、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、JOC ハイパフォーマンスアシスタントディレクター及びスピードスケート強化部長の協議により、必要に

応じて行うものとする。

【ワールドカップ参加標準記録】

女子		男子	
500m	40,00	500m	36,20
1000m	1.20,00	1000m	1.12,00
1500m	2.02,00	1500m	1.50,50
3000m	4.22,00	5000m	6.42,00
5000m	4.22,00 (3000m)	10000m	6.42,00 (5000m)

- ※ 対象競技会は、2025 年 7 月 1 日以降に開催された、ISU Competition & Event Regulations に基づき ISU 国際競技会カレンダーに掲載された全 ISU メンバーに参加資格が認められている競技会、全日本スピードスケート距離別選手権大会、全日本スピードスケート選手権大会及び全日本ジュニアスピードスケート選手権大会とする。
- ※ マススタート、チーム種目（チームパシュート、チームスプリント及びミックスリレー）にエントリーするためには、少なくとも 1 つの参加標準記録を達成していなければならない。なお、これらのチーム種目については、男女それぞれのチーム種目において最大 1 名は、1000m において女子は 1.25,00、男子は 1.16,00、1500m において女子は 2.10,00、男子は 1.57,50 のいずれかを達成していなければならない。
- ※ 上記の記録は 2025/26 シーズンのものであり、2026/27 シーズン（今シーズン）のものは ISU によって変更される場合がある。

【選考基準記録】

女子		男子	
500m	37,76	500m	34,48
1000m	1.14,90	1000m	1.07,95
1500m	1.54,79	1500m	1.44,50
3000m	4.01,15	5000m	6.11,63
5000m	6.57,72	10000m	12.54,75

- ※ 男女 500m、男女 1000m、男女 1500m、女子 3000m、男子 5000m については、2024 年度及び 2025 年度ワールドカップ（カルガリー・ソルトレークシティ以外）の Division A における各種目のタイムランキングを作成し、3 位のタイムの平均値を選考基準記録とした。また、女子 5000m、男子 10000m については、2023 年度及び 2025 年度ワールドカップ（スタヴァンゲル・ヘレンベーン）の Division A における各種目のタイムランキングを作成し、3 位のタイムの平均値を選考基準記録とした。